



CLOUDSIGN

for Salesforce

V5.1 バージョンアップ リリースノート



最終更新日:2023 年 3 月 31 日

はじめに

本リリースノートでは、クラウドサイン for Salesforce の主要な新機能や、既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。

新機能および機能強化には、既存の環境に影響を与える可能性があります。

より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトをご参照ください。

ヘルプサイト : <https://doc.terrasky.com/display/CLOUDSIGN>

目次

1.	送信先単位での個別設定を可能に	4
①	メール言語を送信先単位で個別に設定できるようになりました	4
②	アクセスコードを送信先単位で個別に設定できるようになりました	4
③	画面の変更点	4
2.	アクセスコードのセキュリティ対策強化	5
①	アクセスコードがマスク表示されるようになりました	5
②	アクセスコードを自動生成できるようになりました	6
③	アクセスコードを非表示に設定できるようになりました	7
④	アクセスコードに半角記号を使用できるようになりました	7
3.	重要なお知らせ	8

1. 送信先単位での個別設定を可能に

① メール言語を送信先単位で個別に設定できるようになりました

■ これまで

メール言語の設定は、書類送信単位で共通でした。

■ 本バージョンアップでの改善点

送信先の使用言語に応じて、個別にメール言語を設定できます。

設定できる言語は、日本語・英語・中国語（簡体字）・中国語(繁体字)です。

② アクセスコードを送信先単位で個別に設定できるようになりました

■ これまで

アクセスコードの設定は、書類送信単位で共通でした。

■ 本バージョンアップでの改善点

アクセスコードを送信先単位で設定できるため、本人確認性が厳格になります。

③ 画面の変更点

- クラウドサイン書類送信の[送信先の追加]画面で、メール言語の選択およびアクセスコードの設定ができるようになりました。

The screenshot displays the '送信先' (Recipient) management interface. It features a table with columns for '氏名' (Name), 'メールアドレス' (Email Address), and '企業名' (Company Name). Below the table, there are individual configuration options for each recipient, including 'メール言語' (Email Language) and 'アクセスコード' (Access Code). The highlighted area shows that these settings are now configurable at the recipient level.

- クラウドサイン書類送信の[オプションの入力]画面にありました、[メール言語]項目と[アクセスコード]項目は削除されました。



2. アクセスコードのセキュリティ対策強化

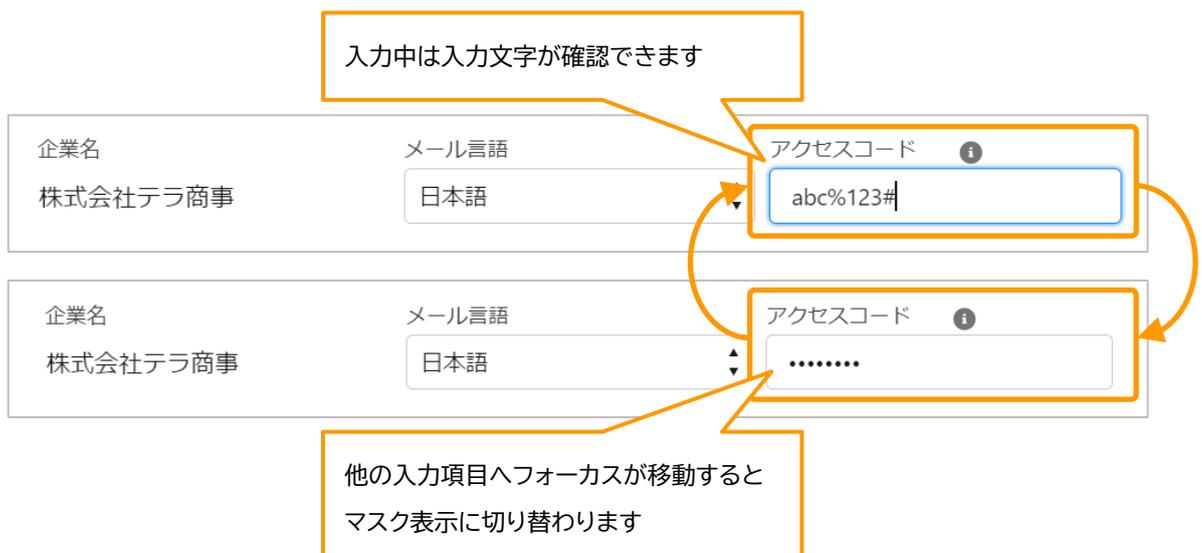
① アクセスコードがマスク表示されるようになりました

■ これまで

アクセスコードを入力すると、そのまま表示されていました。

■ 本バージョンアップでの改善点

アクセスコードの入力中は通常通り表示され、他の入力項目へフォーカスが移動すると、マスク表示されます。



② アクセスコードを自動生成できるようになりました

■ これまで

アクセスコードは、送信者が任意の文字列を入力する必要がありました。

■ 本バージョンアップでの改善点

アクセスコードの入力中は通常通り表示され、他の入力項目へフォーカスが移動すると、マスク表示されます。

自動生成されたアクセスコードを変更する場合は、入力フィールド右側のリフレッシュアイコンをクリックします。これにより、推測されにくいアクセスコードを簡単に設定することができます。

ご注意:

- 本機能を利用するには、システム管理者によるクラウドサイン システム設定(カスタム設定)での設定が必要となります。
- 設定では、使用する文字種別と桁数を指定できます。会社のセキュリティポリシーに合わせて設定してください。

企業名 株式会社テラ商事	メール言語 日本語	アクセスコード ⓘ ptHQIGSC@l
-----------------	--------------	-------------------------

リフレッシュアイコンをクリックすると、
アクセスコードが再生成されます

③ アクセスコードを非表示に設定できるようになりました

■ これまで

アクセスコードを非表示にすることができませんでした。

■ 本バージョンアップでの改善点

アクセスコードを非表示に設定できるため、契約当事者以外にアクセスコードを知られるおそれなくなります。

ご注意:

- 本設定を有効化するには、システム管理者によるクラウドサイン システム設定(カスタム設定)での設定が必要となります。
- この設定を有効化すると、アクセスコードを入力できなくなりますので、自動生成機能と合わせてご利用ください。

企業名	メール言語	アクセスコード
株式会社テラ商事	日本語	

アクセスコードが設定されている場合、目に斜線のアイコンが表示されます。
アクセスコードが設定されていない場合、アイコンは表示されません。

④ アクセスコードに半角記号を使用できるようになりました

■ これまで

アクセスコードで使用できるのは、半角英字と半角数字のみでした。

■ 本バージョンアップでの改善点

半角英字と半角数字に加え、半角記号をアクセスコードに使用できるようになりました。

より推測されにくいアクセスコードを設定できます。

3. 重要なお知らせ

2023年4月以降に実施されるメジャーリリースで、URLパラメータの「title」を廃止します。本パラメータは、書類送信画面の起動時にタイトル項目へ任意の文字列を設定するためのものです。

V5.0から、レコードのタイトル項目を書類送信画面に自動設定できるようになりました。

順次、こちらの機能へ移行をお願いいたします。

■ 参考サイト

書類送信画面のタイトルを初期表示する設定

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=40603289>

書類送信画面に項目を自動設定するための設定

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=88158946>

クラウドサイン for Salesforce V5.1 バージョンアップ リリースノート

株式会社テラスカイ

URL : <https://www.terrasky.co.jp>

お問い合わせ : <https://terrasky.secure.force.com/ProductSupport>
